

平成30年度の重点目標達成に向けたテーマ及び具体的な取組（学年・分掌版）

学年・分掌名： 特別活動部

記入者氏名： 嶋田 仁

本年度の重点目標

人材育成と自己実現

すべての教育活動を通じて人材育成を図り、人格の完成と自己実現を支援する

* 実践指針

すべての教育活動において「追究姿勢の育成」を念頭に置き、これを通して、先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材（21世紀人材）の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する。

* 具体的な手立て

（今年度、重点的に取り組む番号に○印 複数可）

- 1 多様な能力を活用する授業等を通して学力の向上を図る
- 2 各種追究活動を通して自己啓発の意欲と追究姿勢の強化を図る
- 3 深い生徒理解を基盤として自己実現を支援する
- 4 社会貢献活動等を通して地域や社会に信頼される人材の育成を図る
- 5 部活動など特別活動の活性化を通して豊かな人間性を育む。
- 6 国際交流の活性化を通して情報活用力を含めた国際性の育成を図る

月	各学年・分掌のテーマ及び具体的取組の作成及び実践
4 9 月	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会・HR 活動と学校行事への積極的・自発的な参加を通して、個性の伸長、豊かな人間性、自主的・協力的な態度の育成に努める。 <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会委員会を年度当初、3年生が実質的に引退する2学期、年度を総括する3学期に開催し、活動方針・計画、反省、次年度への計画などについて話し合う機会を設け、自発的かつ改善を意識した運営を促し、より活性化を図る。 ・創立120周年記念関係行事への積極的な参加を促し、これまでの横手高校の歴史と横手高校のこれからについても意識させ、現在の自分たちのあり方についても考えさせる機会とする。
10 月	<p>各学年・分掌のこれまでの実践に対する検証</p> <p>(検証結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創立120周年記念関係行事には生徒たちが積極的に取り組んでくれただけでなく、招待試合や式典などに参加してくれた外部の方からも肯定的な評価を頂くことができた。 ・生徒会最大の行事である美入野祭においても、執行部がよりよいものにしようと様々な工夫をしてくれた。その結果逆に一般生徒とトラブルも生じたが、話し合いを通じ解決することができ、生徒同士のより深い理解・共感につながったのではないかと思う。 ・生徒の努力、顧問の先生方の御指導のおかげで、今年度前半も各種大会で生徒は素晴らしい活躍をしてくれた。 ・生徒会役員選挙規程の改正案が出されたが、評議員の協力を得て各クラスで議論してもらい、常識的な判断がなされたと思う。また美入野祭の収入の寄付先の変更や、生徒昇降口の傘の乱雑な状況を改善したいという意見などを取り入れ、評議員会をへて実現したことも生徒たちの自発的な活動として特筆できる。

検証をふまえた改善のための実践及び次年度に向けて

10
|
2
月

(改善のための具体的取組)

- ・生徒会規約、選挙管理規程に現在の実情と合致していない部分があり、その解消をしなければならない。
- ・第2回生徒会委員会でのこれまでの反省をもとに、改善策に取り組む。

(次年度に向けて)

- ①特別活動部に関する5段階評価のアンケートでは5と4の評価の計が昨年度に比べ全て上昇しているのは良かったと思われる反面、職員による評価では5の評価は全て増えているが、4の評価が大幅に下がり、合計でも下がっている項目が多い。自由記述などで改善策を提案していただければ有難い。
- ②保護者アンケートでは部活動について、感謝の声と負担・練習軽減・指導法についての要望が毎年多く寄せられている。練習時間、休養日や週末の練習・遠征等については規程の遵守をお願いしたい。それでも必要な場合はその必要性を生徒に理解させることで、(保護者の)不満はだいぶ軽減できるのではないかと考えられる。よろしくをお願いしたい。
- ③120周年関連の諸行事があっただけでなく、その関係で実施時期を変えなければいけない行事も幾つかあったが、それぞれを成功に導いてくれた職員、生徒諸君に感謝したい。また、部活動においても例年に劣らない活躍があった。生徒の活躍はもちろんだが、顧問の先生方の指導にも感謝したい。
- ④生徒会新執行部がスタートし、公約の意見箱設置数を増やしたことで、従来よりも多くの生徒からの意見が集まるようになり、提案・要望が実現したものもいくつかある。昨年度から年3回に回数を増やした生徒会委員会でも生徒からは改善のための真摯な意見が見られるなど、ある程度の成果は上がっていると思われる。生徒の自主性を尊重し、よりよい方向に進むように活動を見守りたい。
- ⑤職員の自由記述にあった、部室の管理については顧問の先生方には是非お願いしたい。

(外部評価) 2月26日(火) 学校評議員会・学校評価委員会の評価

特別活動部 評価はB[○]

・今年度は創立120周年記念関連行事があり多忙だったと思います。部活もよく頑張ったと思います。

・様々な活動も結果も大切だが、生徒一人一人が取り組んでいる文武両道を通して、人間性を豊かにする為の工夫を怠らず大切にしてほしい。

・創立120周年記念行事の親善試合において、相手校の応援を精一杯行い、会場の雰囲気は大いに盛り上げ、清々しい雰囲気の中で正々堂々と対戦した様子は、見るものすべてに感動を与えたと思いました。生徒たちの心の成長を感じました。

・創立120周年を通して目標を達成できた一年だったと思います。

・評価の具体的な指標が提示されていない為か評価は難しいところです。自己評価はBをつけているが根拠が不明確に感じます。